

会 議 名	平成30年4月第2回定例記者会見
日 時	平成30年4月19日(木) 午前10時15分～
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p>開会 ただいまから定例記者会見を始めます。本日は市からの発表事項は5件となっております。</p>
市 長	<p>皆さん、おはようございます。 それでは私の方から5点、発表すると同時にいくつかご報告を申し上げたいと思います。 まず、既に発表いたしました、本市におきまして個人情報流出事故が連続して発生いたしました。市民の皆様方にまずはお詫び申し上げたいと思います。この大切な個人情報の取り扱いには細心の注意を払って、再発することのないよう徹底をしまいたいと考えております。また、個人情報の取り扱いの問題だけではなく、市の職員、市におけるデータの取り扱いや仕事の進め方など、さまざまな原因があるかと思っております。その点では、市全体で情報を共有して、こういったミスが起きないような体制を作ってまいり所存でございます。</p> <p>市からの発表事項 土湯温泉に新たな観光施設が誕生！ ～公衆浴場「中之湯」オープニングセレモニー～ それでは、発表事項にうつりたいと思います。 1点目は、土湯温泉で新たな観光施設が誕生いたします。公衆浴場「中之湯」でありまして、そのオープニングセレモニーを来たる26日木曜日、午前11時より実施いたします。ご承知のように、土湯温泉は大震災・原発事故によって甚大な被害を受けまして、特に風評被害が深刻でございました。そのため温泉街の魅力向上と、にぎわいを創出するということで、これまで施設の整備や道路の美装化などを進めておりましたが、加えて復興の象徴として、リニューアル工事を進めておりました中之湯が完成したわけでありまして。この中之湯というのは、温泉の中身でいいますと、地下から湧く3種類の源泉を活用いたしまして、全ての浴槽が源泉かけ流しという形になります。単純泉と炭酸水素塩泉の2種類の泉質を楽しめるということで、特に炭酸水素塩泉はアルカリ性</p>

でお肌に大変よく、「美肌の湯」と呼ばれておりますので、ぜひ、市民の皆様、観光でいらした皆様には、これをお楽しみいただきたいなと思っております。この事業は、平成26年度から都市再生整備計画事業を活用いたしまして、進めてまいったものであります。5カ年で実施をいたしまして、総事業費が21億5千万円という形になります。入浴料、利用料金は大人（12歳以上）が500円、子ども（1歳以上12歳未満）は250円となっております。

これが1点目です。

ももりんの幸せ出生届 ～オリジナル戸籍届第二弾！～

それから2点目ですが、これはなかなかかわいらしい、楽しい取り組みです。「ももりんの幸せ出生届」というものを今度始めることになりました。本市では平成28年から「ももりんの幸せ婚姻届」というものを実施しておりました。大変好評でした。そして、できれば出生届も作ってほしいという要望がありまして、本市のオリジナルの戸籍届として、この「ももりんの幸せ出生届」を実施いたします。これは、ももりんを取り入れたオリジナルのデザインでありまして、これは2枚目（裏面）になります。1枚目は普通に届けを書くようになっておりまして、こちらの方は複写式ですから届け出がそのまま残ってまいります。それに対して、こちら側はお父さん、お母さんがオリジナルでお子さんへの思いを残すことができるようになっておりまして、ここに写真が貼れるようになっております。それから、生まれた日のことやコメントなどをこちらのところで書くことができます。「春うららもうすぐ吾妻小富士に雪うさぎが見える頃 天気の良い日でした」と、例では書いていますが、このようにその時の様子を残しておくことができます。そして、こちらでは名前の由来をつけることができます。「福島で凜と大きく育つように パパとママは願っています」などと書くことができます。ちなみに、こちらの出生届の部分は、これをもっていけば、産科のある病院などで、書いていただけるのは市内で今配布をしている場所ではできるわけですが、市外の産院などでは出生証明自体ができない場合、書いていただけない場合があります。それは所定の様式をペタッと貼ってもらえれば結構ですし、いろいろな活用ができるということでございます。特別な記念の日にぜひ利用していただきたいなと思っております。私としては婚姻届とこの出生届と、こういったことで幸せがいっぱい、この本市で生まれることを期待しているところでございます。

みなさんのところにこれはいつておりますよね。これは1枚目で、普通に役所的な記載事項を書くところでした、それはこんな

感じですね、2枚目はまた独自の工夫がされているということで、これは福島市オリジナルの取り組みです。

総合計画を推進する総額1,500億円の282事業

～総合計画第3期実施計画と中期財政見通しの策定～

続いて3点目にまいります。

総合計画の第3期の実施計画と、中期の財政の見通しを策定いたしました。これまで2期にわたって実施計画を、3カ年の実施計画をつくってまいりましたが、今般、今の福島市の総合計画に基づく第3期目の実施計画を作ったところでございます。

掲載した事業はいろいろ書いておりますが、まずはこちらのみなさんへの発表資料をご覧いただきたいと思っております。実施計画自体は「1」に書いてありますように、向こう3年間の実施する事業の計画です。「2」にありますように、計画の範囲としては、道路や施設整備などのハード事業、それから市の重点事業として位置づけられるソフト事業を対象に計画を作りました。人件費などの義務的経費や経常的経費、こういったものは計画の中身からは除外して、対象外としております。そして、主な入っているものといえば、「3」をご覧いただきたいと思っております。今の市の政策の三本柱にそれぞれ分けて、「ひと・暮らしいきいき ふくしま」であれば、待機児童対策緊急パッケージ事業といったようなもので、こちらに書いてある4本をはじめとするような事業を盛り込んであります。「産業・まちに活力 ふくしま」という点では、食品加工産業創出事業や新工業団地整備事業、地域振興施設整備事業、オリ・パラの関連事業と、こういったものが盛り込まれることとなります。それから、「風格ある県都 ふくしま」という点では、観光圏整備事業や福島圏域合同移住セミナー実施事業、あるいは駅前のリニューアル整備事業、栄町の都市再構築型優良建築物等整備事業と、こういったことを盛り込んで実勢計画を策定いたしました。今回のポイントは、さらに全体で1,500億円ぐらいの事業費になってまいります。併せて財政の見通しを策定いたしました。これは32年度までではなく、34年度までの一般会計の財政の見通しを作っております。

この2枚目をご覧いただきたいと思っております。

それぞれ歳入、歳出を推計いたしまして、その結果としてのギャップというか、差を財源不足額という形で明示いたしました。これがこの表の一番下のこちらの部分ですね。これをご覧いただきますと、昨年度（平成29年度）は、実質的に17億円の財源不足が生じまして、基金を取り崩して補ったという状況でございましたが、平成30年度は、当初予算に掲げているように、10億

円の財源不足という形になっております。そして、31年度からは、それぞれ27億円、16億円、4億円、10億円の財源不足ということになりまして、これを基金などで補てんをしてこの事業を実施していくという形になります。赤字になってどんどん貯金が減っていくのではないかとということに、ご心配になるかと思いますが、我々としてはそうならないように、私自身は、この財源不足の額というのは、ある程度コントロール可能な額だと考えておりますので、今後も財源の効率的配分や歳出の一層の効率化、あるいは歳入確保に努めまして、健全な財政運営を維持してまいりたいと考えております。なお、実施計画自体は、我々としては現時点でやれるものを見込んでおりますが、今後当然いろいろな面で変わってまいります。その点では、今後予算編成において必ずこれが盛り込まれるというものでもありませんし、私自身も今回まだ十分今後の市の政策の方針について、検討をして、例えば今年度の予算は時間的余裕もあまりなかったですから、今後さらにいろいろ検討するなかで必要なものをまたやっていきたいというふうに考えております。

福島市の地方創生への取組み

～ふくしまの新ステージへ！福島市総合戦略の検証結果と改定～
続きまして、4点目です。

地方創生関連で、「福島市総合戦略」というものを作っておりましたが、その検証結果と改定を公表いたします。これは平成27年度に、「福島市総合戦略」というものを策定いたしまして、そして28年度の実績分につきまして、昨年度検証を行いました。総合戦略では、(発表資料の「1」の(1)にあります)75項目のKPIという重要業績評価指標を設定いたしました。KPIというのは、「Key Performance Indicator」で、鍵となる業績の指標で、これを設定いたしました。その進捗状況はどうかということで、市では「達成度詳細」というものがありますが、「マル(○)A」、「A」、「B」、それから「バー(-)」というものに分けました。この「A」というものは、目標値に対して7割以上進捗しているというものを「A」として、目標自体を達成したというものを「マル(○)A」という形にいたしました。7割未満は「B」という形にいたしております。その7割というのは何なんだということですが、(その下の「・」の2つ目をご覧くださいなのですが)国の地方創生の実施結果報告の中で、70%以上を達成すれば相当程度効果があったと評価できるだろうという基準がありましたので、本市としてはそれを採用して70%というものをひとつの指標に、評価の基準にさせていただいております。その結果、75項目のうち、68%の51項目が70%

以上を達成したということで、「A」以上だという形になります。それぞれ「1」「2」「3」「4」という項目がありますが、項目ごとの達成状況はご覧の通りでありまして、これ（資料）でいいますと、「2 安心して結婚・出産・子育てのできるまちへ」というのが85%の達成ですから、比較的達成状況が高くなっているということでもあります。それに対して「1 産業の活力を向上し、安心して働き続けられるまちへ」という点では、55%ですから、こちらは比較的低いというところでもあります。達成状況の分布はどうかというのは下の表でありまして、目標自体を達成したのは15項目で20%、「A」は36項目で48%、「B」は7割までいっていないということで、我々としては努力をしていかなければいけないものですが、それが19項目で25%という形になっております。こういった状況を踏まえまして、昨年度この総合戦略の方も、「戦略検証会議」というものを開催いたしまして、委員などから助言をいただき、改定をいたしました。それから、空き店舗の算出根拠などの見直しをいたしまして、より実態に即したKPIに改定するなどいたしまして、今後もしっかりとPDCAサイクルをまわして、この業務のより一層の推進に取り組んでまいりたいと考えております。次の資料にありますが、（例えば資料の真ん中ほどにあります）「市内路線バスの乗車人員」や「新たな官民協働、地域間連携の件数」というのは、それぞれ目標に対して同じ、あるいはそれ以上ということですから、「マル（○）A」という形になります。何かいいものばかりじゃないか、と言われそうなので、悪い点も言っておきますと、例えば「B」の項目になっているものでいうと、コンベンションの誘致などというのは、誘致件数とか、あるいは商談件数が目標の7割に達成していないということで「B」項目ですし、有害鳥獣のところもそうです。あるいは、介護のマンパワーの確保といったことも目標値に達していませんし、我々としてはこれからしっかりと努力をしていかななくてはならないと考えております。

**市内全域の放射線量をお知らせします
～「全市放射線量測定マップ」作成～**

そして、5点目は、全市一斉放射線量測定結果のお知らせです。今年度も「全市放射線量測定マップ」というものを作成いたしました。発表資料にありますように、市内で923の区画に分けております。その区画の中で、3地点を測定いたしました。1点あたり5回計測をして、その平均を出したというものですから、ピンポイントではなくて、その区画内の、できるかぎり、しかもある期間の平均をとるということで、かなり丁寧にやっているのか

などと思います。その結果、今回は全地区の平均は $0.17 \mu\text{Sv/h}$ (1時間あたり)となりまして、昨年度と比較いたしますと、 $0.04 \mu\text{Sv/h}$ 減少いたしました。昨年は $0.21 \mu\text{Sv/h}$ です。最初にやり始めました平成23年6月と比較いたしますと、87.2%低減しているということになります。さらに、今回は(こちらをご覧くださいとわかると思うのですが、)2色しかなくなりました。0.5以上の $\mu\text{Sv/h}$ の地域、区画はなくなったということで、全市、全体的に低減が進んでいるという状況がお分かりいただけると思っております。また、市内の8割の区画が $0.23 \mu\text{Sv/h}$ と、政府が $0.23 \mu\text{Sv/h}$ を一定の目安としておりますが、それ以下になっているということをございまして、さらに低減している状況がうかがえるかと思っております。こちらとの比較をご覧くださいればお分かりの通り、こちらは平成24年3月の測定マップですが、こちらの色にはないような赤や黄色、緑の区画がかなり見受けられたかと思っておりますが、今は全市的に0.5未満と下がってきているという状況がお分かりいただけるかと思っております。この低減した原因としては、今年の3月19日に完了いたしました。除染の効果というものが非常に大きかったと考えております。加えて、放射性物質の物理学的減衰(徐々に放射線量自体が下がってくるという現象)、それからウェザリング効果(雨風などの自然現象によって放射線物質が移っていくということ)で、このように減少していると考えております。こちらに関しては以上であります。

その他

それから、若干報告を申し上げたいと思います。ペーパーがなくて申し訳ありませんが、ひとつは、今朝、残念ながらどの会社にも出てきていただけなかったのですが、本市で大震災後初めて非常参集訓練を実施いたしました。福島盆地の西縁の断層帯で震度5弱が観測されたという前提で、参集すべき本部員が集まりまして、災対本部を作って運営をするという訓練を実施しました。併せて、画像伝送システムなどの送受信訓練も行いました。狙いは、我々は東日本大震災の災害を被った自治体として、これまで以上に防災対策を強化しなければいけないということがまずひとつあります。それから本市でも大幅な人事異動がありました。そして、6月にはまた雨の時期がやっ来てまいりますので、その点ではしっかりと職員に意識づけをして、市として対応できるかどうかということ、きっちりここで確保しておきたいということで、今日の訓練を実施しました。服など使い慣れておかないといざというときに困りますので、その点では市の職員の意識の確保に役立ったのかなと思っております。若干、画像伝送で、テレビカメラが動かなかったということがありまして、その点ではき

ちりと訓練をするというのは非常に役に立つなと思いますし、我々としては、こういったことをやりながら、いざという時のために、より適切に行動をとれるように準備をしていきたいと考えております。

それから、2点目は、夜間急病診療所が本日の夕方6時半から受付開始し、診療は7時からということで、移転をして再開いたします。場所は、県庁通りの上町テラスの2階でありまして、これまで以上にスペースに余裕をもっておりますので、市民のみなさんに窮屈な思いをしないでご利用いただけるのではないかと考えております。なお、夜間急病診療所というのは、救急でいうと一次、二次、三次とありますが、一次救急に該当する診療所になります。初期救急でありますので、夜間の急な発熱など、その他の緊急事態にこれをご利用いただければと考えております。

それから、皆さんにもここでお願いしておりました「ミス・ピーチ」ですが、昨日で募集を締め切りました。おかげさまでなんとか36名の応募がありまして、うち男性1名という形でありました。21日（土）に選考会を開く予定でございます。

それから、これもこの場で発表いたしました、「わくわくふくしまインスタ大賞2018春」であります。これを今募集しておりますが、18日（木）までで1,052件の応募があります。私も自分でやっていますが、これを応募するにはハッシュタグをつける必要があるんですね。「#wakufuku」「#wakufuku18haru」「#CJふくしま」と付けないと応募された形にならないです。けっこう皆さんアップしていますが、こういうもの（ハッシュタグ）をつけていないケースも多いので、ぜひ、インスタグラムを使って市内のいいものを投稿される方は、これをつけて応募いただきたいなと考えております。5月31日までやっておりますので、これからゴールデンウィークでたくさんいいシーンが見受けられると思いますので、積極的に奮ってご応募いただきたいなと考えております。

それから、最後になりますが、これは広報課が今取り組んでおりますが、市民カメラマンを募集しております。市民カメラマンが撮影する広報用の写真や動画を福島市のPRに活用していきたいと考えております。募集人員は6名ということで、16日現在でまだ1名でございますので、なんとか多くご応募いただければなと考えております。ぜひ、市民のみなさんの目で、力で、本市の魅力やいいところを発信していきたいと思っておりますので、よろし

	<p>くお願い申し上げます。募集期間は5月8日（火）までで、年間1万円の謝礼をお渡しする予定でございます。</p> <p>私からの発表は以上でございます。</p>
広報課長	<p>質疑応答</p> <p>ただいまの発表事項につきまして、質疑応答に移ります。ご質問がありましたら、挙手・指名の後、社名とお名前をおっしゃっていただき、ご発言をお願いします。</p>
記者	<p>先ほどお話があった「福島市総合戦略」の75項目の詳細については、一般的に公開されるのでしょうか</p>
市長	<p>公表いたします。ホームページで。本当はこの場でお渡しすればよかったのですが、すみません。後で用意してお配りください。全項目お渡しいたします。</p>
広報課長	<p>その他ございますか</p>
記者	<p>出生届のことについてお伺いします。全国的にもオリジナルの出生届は珍しいということで、例えば「東北初」であるとか「県内初」であるとか、どれぐらい珍しいのかというのを教えてください。</p>
担当者	<p>東北6県の県庁所在地では初めてだと確認が取れています。</p>
記者	<p>県内の市町村を含めてであるとか、東北の県庁所在地以外の市町村を含めて初かどうかはまだわからないということでしょうか</p>
担当者	<p>実は今年度、新しい事業がはじまった市町村が他にもありまして、すべて確認が取れませんでした。全国でも非常に珍しいというところでは、ネット等で確認はしておりますので、その形で発表させていただきました。</p>
市長	<p>やっているところはどこでした？</p>
担当者	<p>兵庫県や、西の方で作っているところがあります。</p>
市長	<p>国などの調査の対象ではないですから、我々とすれば、時事通信などの発信が情報源ですので、むしろそちらの方がよくご存知か</p>

	<p>もしれませんし、ぜひ報道していただいて、福島でもやっているということをお願いいただくと大変ありがたいと思います。</p>
広報課長	<p>他にございますか</p>
記者	<p>「全市放射線量測定マップ」についてですが、これはどういう方法で測定していますか。市が持っているモニタリングポストではなくて、何で測定をしているのでしょうか。</p>
担当者	<p>シンチレーションサーベイメーターということになりまして、人手で測定をしています。人が現地に行って測定をしています。</p>
市長	<p>大事なことを忘れていたのですが、これまでこのマップを全戸配布しておりました。だいぶ下がってきた面もありましたので、今回、市民の方で自分もういらないという方もおりましたので、全戸配布はやめて、まずは広報紙などとともに、回覧でまず配布をするという一方で、市の支所や出張所などの窓口で用意しておりますので、ご連絡すれば、欲しい方にはお渡ししますのでご確認いただければと考えております。</p>
広報課長	<p>他に質問がありましたら、お願いいたします。</p>
広報課長	<p>その他の質疑応答 では、質問がないようですので、その他に移ります。その他、この場で何かありましたらお願いいたします。</p>
記者	<p>今日午後から、今年度初めてのオリンピックに関する会議がありますし、明日市町村を招いての県のオリンピック関係の会議があるかと思いますが、先日、東京のオリンピックの組織委員会の方で、聖火の展示をするという話が被災地3県でやると決まったと思うのですが、聖火を展示する場所は具体的には決まっていなかったと思うんですね。聖火の展示と、これから話題になってくるであろう聖火リレーについて、福島市は開催地のひとつであると思うのですが、誘致に関してどういうふうこれから進めていくのか、今の時点でのお考えがあれば聞かせていただきたい。</p>
市長	<p>福島市は唯一の開催地ですから、それなりに聖火リレーは福島市を通っていただけたらと思っておりますし、我々とすれば聖火の展示も福島市でやってほしいなという気持ちはあります。ただ、これは最終的には県民みんながオリンピックを迎えて、福島の感謝と、復興に取り組む姿を発信しようではないかとか、そういうも</p>

	<p>のですから、やみくもになんでもかんでも福島市にお願いしますよと言って誘致合戦するようなことは、我々としてはどうなのかと思っております。ある程度開催地にふさわしい扱いはしていただきたいとは思いますが、できればみんなでシェアできるようなことを検討していただければと思っております。</p>
記者	<p>あくまでも、福島市としてはやってほしいという思いはあるけれど、福島市だけにというわけではなくて、周辺市町村ともなにかうまくつなぐ形でやっていけるようなイメージを、福島市としてはこれから提案していくということでしょうか</p>
市長	<p>聖火リレーは県全体でやるものですから、そのへんはまずは県全体でご意見を伺いながらやっていただければいいのかなと思っております。</p> <p>県民全体の視点でということなのですが、一方で我々とすれば、前回お話ししましたが、市民にオリンピックというものを改めて感じていただいて、思い出に残していただくような福島市版の聖火リレーというか、そういう独自のイベントを企画したいなと思っております、そういったコミュニケーションは協議会の方で市民の皆さんと共に話をしたいと思っております。</p>
広報課長	<p>その他にご質問がありましたらお願いいたします。</p>
広報課長	<p>閉会</p> <p>ご質問の方はよろしいでしょうか</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の定例記者会見を終了いたします。</p>